

府中一新、日本一新。

府中の元気

フリーダムネット

発行所：市民フォーラム 〒183-0051 府中市栄町 2-14-21

No.38 2010.2



府中市議会議員

杉村康之

新政権-正念場の平成22年

国民の想いを形にする新年度予算

～予算が執行されれば、必ず政権交代を実感できる～

新年のあいさつで鳩山総理が述べた通り、新政権は「正念場」を迎えています。新政権は国民との約束を着実に実行に移しています。報道は十分にされていませんが、政治は結果が勝負。予算の効果が覚えてくれば、必ず政権交代の意味を実感していただけるはずです。

年の暮れにまとまった22年度予算案は、マニフェスト100%とはいきませんでした。画期的なものがたくさん含まれています。全体としては、公共事業費を18%減らす一方で、社会保障費を10%、教育や科学を5%増やすなど、まさに「コンクリートから人へ」を形にした予算です。

個別には、紆余曲折の末、子ども手当を所得制限なしで予算に盛り込みました。所得制限すべきとの声もありましたが、所得制限の有りと無しとでは政策の理念が全く違ってきます。子ども手当は単なる福祉政策ではなく、出生率を上げ、年金など将来の社会保障の基盤をつくるものです。苦しい財政の中ですが、最後は鳩山総理の決断でその理念を貫きました。

農家への直接補償も、画期的な政策です。「農協あつての農家」から「農家あつての農協」へ、農政の転換が必要です。農業、特にこめづくりは地域の共同作業ですから、これからも農協の役割は重要ですが、主役はあくまでも農家です。直接補償はそのための構造改革になります。

■高速道路の無料化、府中市議会で議論

高速道路の無料化反対の意見書が、自民党から出されたので、左記の通り議論をしました。

高速道路は本来、無料になるはずでした。民主党は、原点に戻り、「原則」無料化と言っています。段階的に社会実験する中で、渋滞が予想されるところなどは当然有料とします。官僚と道路族がいいように使ってきたどんぶり勘定を取り上げ、国民に返すのが目的です。

「高速道路原則無料化の撤回を求める意見書」 案について (12月議会本会議)

杉村 1、有料化はもともと建設費が償還されるまで、ということで始まったが、時期が来ても無料にならない。国民に対する約束違反だが、この意見書との整合性は？

2、麻生政権で無料化の経済効果が、2兆7千億円、消費者への波及効果が7兆8千億円と出されています。マイナスもあると私も思うが、マイナスがどれくらいで、マイナスの方がプラスより大きいと判断したのですか？

M議員(自民党) 現在の財政状況からすると国民負担を増大するということが懸念されています。とくに、鉄道・フェリー業界等の客離れが進むことが非常に懸念されます。

国民負担が増す、交通渋滞が起こる、交通体系が変わるということを踏まえて提出するわけです。

杉村 マイナスが大きいという説明がありませんでしたので、その理由では意見書を出すには不十分でしょう。

すべての高速道路の償還が終わってから無料にするという「プール制」は、一度財源を手にとると手放したくないという、まさに官僚政治であり、「プール制」そのものが国民負担を増やしてきたのです。そこを断ち切ろうというのが、高速道路無料化のねらいです。

府中市の外交は大丈夫か

「稲城市長に迫られ、廃止を表明」

12月議会一般質問・報告

杉村 『ゴミ分別の異常な世界』(幻冬舎新書)という本にこうあります。

「石川(稲城)市長は言う。『うちにある焼却工場でごみも処理してもらいたいなら、ダストボックスを廃止しなさい、と通告し、府中市長に約束させたんだ』」

「市内から出るごみの一部は、隣の小金井市などと一緒に造った焼却工場でも燃やしていたが、この工場が老朽化し、閉鎖され、燃やせなくなった。困った府中市は、そのごみを、稲城市に頼んで、持ち込むことを認めてもらった。でも、それに条件があった。ごみ減量に努力し、持ち込むごみの量を減らすために、石川市長がごみの受け入れの条件として出したのが、『ダストボックスの廃止』、『ごみの有料化』、『戸別収集』の3つだった」

「野口市長は『わかりました』と、丸呑みするしかなかった。」

とあるが、これは、本当のことでしょうか？

ごみ改革本部長 減量に配慮すべきとのことのお話はいただいた記憶がある。

杉村 市民も読んでるので、これがもし違うのであれば、はっきりと公の場で否定するべきだと思うが、いかがか、お聞かせ下さい。

副市長 ごみの問題は長くなるのでかいつまんで言いますと・・・(これまでの経緯の説明が延々と続く)

杉村 公の場で否定するかを、聞いています。

副市長 本はちょっと読んでいませんが、取材も受けていませんし、何ら根拠がないと思っています。

ごみ問題は、市民も巻き込んだここ数年の府中市の大きな課題でした。市のごみ担当は、

ごみが減らない、市民のマナーが悪い、最終処分場がないから、地球温暖化の防止、循環型社会のため

などと、後付けで、次々に理由を変えてきましたが、結局のところ、二枚橋の焼却場が停止となり、行き場に困って、そこをうまく他市に突かれてしまったというのが本当の理由です。

■見通しの甘さ、繰り返さないように

ごみ担当は、当初二枚橋がだめでも稲城にある焼却場に全量(21000t)を入れてもらえると安易に考えていました。しかし実際は8000tしか許可されず、「条件」も付けられました。見通しが甘かったと言わざるをえません。

今回のごみ問題を通じて、府中市行政の程度が見えました。失敗を二度と繰り返させないために、今回の教訓を、今後の議会活動に活かしてまいります。

平成 21 年第 4 回市議会定例会 議決	付託委員会	本会議の結果	市政11	市フ8	公明5	生ネ3	共産3
-----------------------	-------	--------	------	-----	-----	-----	-----

★ 主な議案

○賛成 ×反対 △継続

府中市自転車の安全利用に関する条例	建設環境	可決	○	○	○	○	○
府中市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	建設環境	可決	○	○	○	○	○
平成21年度府中市一般会計補正予算(第2号)	厚生経済	可決	○	○	○	○	○
二枚橋衛生組合の解散について	建設環境	可決	○	○	○	○	×
二枚橋衛生組合の解散に伴う財産処分について	建設環境	認定	○	○	○	○	×

★ 陳情/意見書

○採択 ×不採択 △継続

UR賃貸住宅への定期借家契約導入に反対する意見書採択の陳情	厚生経済	採択	○	○	○	○	○
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める件についての陳情	厚生経済	採択	○	○	○	○	○
府中市にホスピスを設置するための支援を求める陳情	厚生経済	採択	○	○	○	○	○
速やかな後期高齢者医療制度廃止を求める意見書提出の陳情 #1	厚生経済	不採択	×	×	×	○	○
有機農業と農産物直売事業の推進を求める意見書 #2	—	採択	○	○	○	○	○
高速道路原則無料化の撤回を求める意見書 #3	—	採択	○	×	○	×	×
緊急経済対策の早期実施を求める意見書 #4	—	採択	○	○	○	○	○
さらなる緊急雇用対策の実施を求める意見書 #5	—	採択	○	○	○	○	○
子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書	—	採択	○	○	○	○	○

#1 民主党は廃止後の制度を設計中なので「今すぐに」というこの陳情には反対した / #2 国の事業仕分けの対象となったもの。実体はイベント業者への補助なので、反対した。×=稲津・杉村・西宮 / #3 ×=手塚・池田・稲津・杉村・西宮 / #2・#3は自民提案 / #4・#5は公明提案。

府中市議会議員  民主党

杉村康之

ご意見ご要望をお寄せ下さい。
ご支援も宜しく願います。

Email ◆ sugimura@sea.sannet.ne.jp

URL ◆ http://www.fuchu21.gn.to

TEL ◆ 042-335-0097

FAX ◆ 042-361-9856

郵便振替 ◆ 00150-1-102251

(フリーダムネット)

銀行口座 ◆ みずほ銀行府中支店

貯 4572242(杉村康之)